



文：小川 康成

## 日常に潜むさまざまな危険

11月に入りすっかり朝晩冷え込み、秋が深まってきましたね。秋と言えば、恒例となっている香嵐渓への道路渋滞が始まっていますが、残念ながら今年はライトアップされないそうです。皆様は、どこかへ紅葉をご覧に行かれたか？あと、今年の冬は寒くなるという事で、タイヤ屋さんでも冬用タイヤの装着や販売で既に忙しくなっているようです。

さて、日没が早くなり、通勤や通学時間帯も暗い場合が増えてきました。早く暗くなるこの時期は、お散歩中や自転車での事故が増える時期ですので、お気を付けください。今回は、日常生活に潜む危険をいくつかご紹介いたします。この機会にご確認ください。

### ～ 自転車を使用される方 ～



自転車を使用している時は、運転者がケガをするケースだけでなく、相手にもケガをさせてしまう事も往々にあります。

警察庁の調べでは、令和元年に於ける交通死亡者 3,215 名の内、歩行者は 1,176 人で全体の 36.6%、自転車は 1,083 人で全体の 33.7%、なんと交通死亡者の 3 人に 1 人が自転車や歩行者それぞれとなります。

自転車は法令上「軽車両」となる為、歩行者と衝突の場合、過失相殺に於る優者危険負担が適用される、また道路交通法上の車両として法令順守が求められるため、歩行者に対して自転車の賠償責任が相応に発生致します。平成 20 年 9 月神戸で発生した、自転車の小学生と歩行者との事故では、自転車側の小学生の保護者に約 9,500 万の支払い命令が出されました。

### ～ ペットを飼っている方 ～



飼育している犬や猫が、家族以外の人に噛みついてしまったケースで、飼い主さんに対して賠償義務が発生します。その場合、相手の治療費等を補償する必要が生じます。但し、相手にも多少の過失が認められるケースの場合もあり、個人では中々判断が付かない為、専門家の知識を利用する事が安心に繋がります。

### ～ マンションやアパートなど共同住宅にお住まいの方 ～



洗濯機や水道の水漏れで下の階へ被害を与えてしまい、賠償を求められるケースも度々発生しています。所有住宅の場合、管理組合で補償される事もありますが、多くの場合は、個人で被害者へ濡れた家財道具などの弁償をする必要があり、実際に弊社でも過去 1,000 万円以上の賠償になった事故もあります。



いざと言う時に何千万、場合によっては億単位の賠償金になる事も有る為、「**個人賠償・日常生活賠償**」と呼ばれる保険に加入する事をお勧めします。掛け金は年間 2 千円前後です。



## メンバー 近況報告

### たこ焼きパーティ

岩瀬 英之



以前買ったたこ焼き器が、一人暮らしだとなかなか使えず飾ってあるだけになっていたの、友達の家へ持参してたこ焼きパーティをしました。今はたくさんの方が集まる事はよくないので、パーティと言っても友達兄弟と3人だけでたこ焼きを楽しみました。ガスで利用するたこ焼き器のため、火が出て室内も熱くなります、換気も兼ね窓を開けながらだったので季節的にちょうどよかったです。以前、夏に行った時は、窓を開けていても暑く汗だくで、大変な思いをしたことが有ります。ただ、大人数でのときは中の具に色々と用意できましたが、今回は三人だったので、たくさん食べられないと思い、具はタコと餅だけにして、トッピング用にキムチを用意してみました。何度か自分で作り慣れているので、今回もきれいに丸く焼くことができましたし、自分で焼いたたこ焼きはよりおいしく感じました。特に自分の場合は、好き嫌が多いので、お店で食べるたこ焼きと違い、好きな物だけで作るの、特に良かったです(笑)現在のコロナ感染がもう少し落ち着き、大人数での会食が出来るようになったら、またやりたいなと思いました。



### 青森へ

古川 友架



薦沼

東北の紅葉はきれいと言われて先月末に青森へ行ってきました。飛行機から降りるとあいにくの雨でしたが、だんだん雨も上がって太陽の光が差し、八甲田のゴールドラインは紅葉が光って見え、黄色やオレンジの紅葉がとてもきれいで感動しました。紅葉で有名な薦沼へ行く途中、雪が降ってきて、紅葉と雪のコラボも楽しめました。雪が結構積もっていて、ルートを変更してなんとか薦沼へ行くことができました。雨とコロナの影響か、人が少なく、ゆっくりと見ることができました。最初は雲があり、少し暗かったのですが、日が差し込むと山肌がオレンジ色に変わり、水面にも映り込み、とてもきれいでした。

また、奥入瀬溪流は見頃が少し終わり、葉っぱが散り始めでしたが、雨で水量が増し、溪流、大滝は迫力がありよかったです。次の日は晴れたので十和田湖でゆっくりすることに。アップルパイを食べ、散策して遊覧船に乗り、十和田湖から紅葉を楽しみました。ねぶたの山車を見たり、縄文遺跡を見て観光もし、大間のマグロや海鮮がとてもおいしく、娘も喜んでくれていて青森を満喫できました。



### 乾燥の冬到来

小川真紀



朝晩がかなり冷え込みストーブなど暖房機器の出番になってきましたが、今年はコロナウイルス感染予防の為、暖房時にも注意が必要なようです。

先日、ニュースで湿度の違いによる、新型コロナウイルスの飛まつ（飛沫）の広がりを最新のスーパーコンピューター「富岳」を使い分析した予測が公表されていました。

暖房で暖め乾燥した部屋などでは、飛まつが霧状に広がりやすくなり、かかる飛まつが3倍に上がることが分かったそうで、部屋の加湿が感染防止に役立つことが裏付けられたとしていました。もちろん、換気も必要ですので、せっかく暖めた部屋も適度に換気する必要があるようです。ウイルスは、乾燥している空気中を漂うことができ、感染力を持ったまま生存できるそうです。あと、体温が1℃低下すると免疫力が30%低下すると言われており、気温の低下に伴い体温が低下し、感染しやすい状態になるとも言われています。インフルエンザが流行する冬ですが、今年は例年以上に感染症予防の「手洗い・うがい・咳エチケット」はもちろん、他に室温や湿度・換気等の環境や人の免疫力を高めることが重要で、色々と生活様式を取り入れる必要が有りますね。免疫力をあげ、感染予防に心掛け、楽しい冬を過ごしましょう！！

